



施するか、42年度以降に検討するから委員の意見が一致せず、答申が遅れているとのことです。この肩代わりというのは、石炭の異状負債1,200億円を解消するために、政府が交付公債を発行して「石炭鉱業事業団」に出資し、事業団はこの公債を以て代位弁済して、10年据え置き後10年間に石炭会社から返済せしめる、という構想であります。反対の論拠は、膨大な国の財政資金を私企業のために出資するには国策としての大義明分が必要であつて、そのためには国としての石炭の位置が明確にされた後に検討すべきだとし、「総合エネルギー調査会」の答申が出る後、即ち42年度以降を主張しているわけです。この問題は各新聞が論説を掲げ、世論を反映する夫々異なつた見解を示しているなど、活発な世論を起こしています。

近々答申が出て、今年中には成否の決定がなされると思います。

「総合エネルギー調査会」は、急増する我が国エネルギー需要に対応して、長期安定供給体制を検討するものですが、その中で石炭がどのような位置を占めるか、この調査会の決定は将来の石炭産業の運命を左右するものであります。諸外国の石炭政策は自国の安全保証に重点を置き、現状生産量維持のために手厚い保護を加えているとのことで、英国では2億屯の需要維持のために重油消費税2,000円をかけ、西独でも1億8千万屯生産維持のため重油消費税、石油輸入規制法を設け、閉山費用など一切を国で負担しているとのことで、このような外国の実例は当然調査会でも参考資料として検討されましよう。答申は来年8月頃出されるようですが、石炭産業に再び自信を取り戻すような決定が期待されます。その他種々の問題もありますが時間の関係で省略します。

○ 「クリスマス・パーティ」について

12月16日(木)17時より明治生命館で行なうことになりました。

委員長は北村親睦委員長、委員として塚田君、木屋君、飯田貢一君、俣野プログラム委員長、高田会計幹事、親睦委員全員をお願いし、11月24日夜「館」にて詳細の打ち合わせが行なわれました。

※ 出席報告

- 1. 本日 会員数28名 出席20名
- 2. 先週の確定出席率 78.57%
- 会員数28名 当日出席20名
- マークアップ2名 計22名

※ 次回(12月8日)のプログラム

会員卓話 「絵画の鑑賞」 深瀬鴻一郎君

本日のプログラム 会員卓話 人間頭脳と人工頭脳。 深瀬鴻一郎君

- ※ 司 会 遠藤会長
- ※ 斉 唱 君が代、奉仕の理想
- ※ ビジター 大沼文雄君他8名(函館)
- 尾形十一君他2名(函館東)
- ※ 会長報告

1. 「ガバナー月信」で「私(嵯峨ガバナー)の公式訪問に対する各ロータリアンの建設的な意見を」と論文を募集しております。
2. 「ロータリーの友」11月号に「ロータリーは費用が掛り過ぎるか」と題して、イギリス、アメリカ、ザンビア、その他各国ロータリアンが意見を述べています。ロータリーの本質にもふれる面白い問題です。お読み下さい。
3. 本日の映画を依頼した「ニセコ写真店」が只今火災中です。急きよ予定を変更し、伊藤日銀支店長さんに無理に卓話をお願いしました。

※ 幹事報告

1. 去る24日社会奉仕委員会の行なつた老人ホーム慰問の礼状が来ました。
2. 「定例報告と送金等の期日及び宛先」のパンフレットを配布します。
3. 12月15日の例会を中止し、16日午後5時よりクリスマス・パーティ前に例会を行ないます。

※ ニコニコ・ボツクス

1. 会員のお誕生日おめでと。杉本君(10日) 今宮君(25日)
2. 奥様のお誕生日おめでと。成田君 船矢君
3. 御結婚記念日おめでと。新君 山内君
4. 俣野会員の次男達二君が11月23日東京で結婚式をあげられました。
5. 会報81号に新会員の随筆がPRを兼ねて掲載されました。(金賞2)
6. 新宮さまの御生まれを記念して各々1000円の投入をお願いしたい。

※ 出席報告

1. 本日 会員数29名 出席22名
2. 先週の確定出席率 75.86%(当日20名 他夕出席2名)



第76回例会

卓話 “株価の異常高について。 日銀函館支店長 伊藤善吉氏

「最近株式が大分高くなって来たが、あれは経済が良くなるきざしですか」と質問を受けます。確かに株式は従来の1,020円から1,350円に上昇しました。これに対し井上東証理事長は、特殊な株式だけが高くなっているに過ぎないから危険であると警告したことがあります。株式市場には「ダウ平均1,500円は虹の掛け橋である。橋が掛けられて、その上を大衆が渡るのが理想である。」との言葉があります。それに迫る1,350円に関心が持たれるのは当然です。私は日銀支店長の立場ではお答え出来ませんが、一ロータリアンとしての判断で意見を申し述べる義務があるようです。

「インフレになつたら株式を買う」のは生活の知恵です。インフレとは貨幣価値が下ることですから、貨幣よりも物(設備、資産~株)を持つことが防衛対策になるのは道理です。今日株式が1,350円になつたことは、或いは景気が良くなっている徴かもしれません。然し基本的に、インフレの時に株式を買うのは果して正しいでしょうか。

今日の経済の基本的問題は深刻な不況にあります。これから直ちに抜け出すことは極めて困難です。特に中央の不況は深刻で、建設業界では僅かに官庁関係の工事があるのみで、それも予定の7割位で入札している状況です。この激しい不況を切り抜ける手段として、政府は公債を発行して事業をやつてゆくわけですが中々うまくゆきません。一方には消費者物価の上昇問題があります。米、私鉄、医療費、更に郵便料等次々に上つてゆきます。年間に8%位です。私は不況を改善し、同時に物価を安定させるべく、慎重な方法で、懸命に努力すべきであると思います。現在は不況断ち切りだけに走っているようです。

日本では卸売り物価は安定しています。ところが消費者物価は上昇します。消費者物価は人件費と考えるとよく、人件費が最も高くなっているのが実態で、会社の収益が少なくなり、次々と欠損を発表している状況です。今後ますますその傾向が強まりそうです。労働の生産性が上らぬことと、卸売り物価を上げることが出来ないのは既定の事実と考えると、生産調整も困難であり、今日の不況に陥つたのは当然です。そうすると、今後の会社経営としては、新製品を開拓するとか、人件費や冗費を節約することしかありませんが、然しあまり期待出来そうにありません。

株式とは、配当が有利であること、小株による儲けを獲得することが目的です。結論として、インフレの時に株式を持つことは期待りすで危険のようです。然し株式が上ることは、何となく景気が良くなることを期待するのも真理です。私はそうなるより希望しております。(12月1日最近の株式市場について、と題する伊藤支店長さんのテレビ放送がありました。)

本日のプログラム 映画 “暮しと交通のカルテ”

- 司会 遠藤 会長
- 斉唱 君が代 奉仕の理想,
- ゲスト及びビジター なし
- 出席優秀会員表彰
1年間無欠席の優秀会員は次の8名で、和光製のロータリーマーク入りのネクタイがプレゼントされました。おめでとございます。
遠藤君、新君、北村君、神原君、俣野君、市川君、飯田貢一君、水上君
- 出席報告
本日の出席者 25名(会員数29名)

クリスマス家族会

引き続き明治生命館5階ホールで17時30分より20時30分まで、クリスマス家族会が極めて盛況裏に、且つ楽しく行なわれました。

- 会長挨拶
平素心掛の良い親睦委員の方々でありますのに、今日は神様が間違えたのでしょうか猛吹雪となりました。然し会員並びに多数の御家族の参加を得、お目にかかれて大変嬉しく存じます。お互いの親しさをますますことがロータリーの始まりであり、60年前の発祥の理由でもあります。本日は親睦委員の方々非常に御苦労して準備計画され、又「館」の石川さんもカクテルコーナーを設けて張り切つておられます。どうぞこれから時間の許す限り「茶」をぬいで充分楽しい夜をお過ごし下さるようお願いいたします。
- 親睦委員長挨拶
合憎の雪ですが、クリスマスツリーにも雪があつてこそ雰囲気が出るものです。クリスマス家族会はロータリアンが家族と共に親睦を深める大行事です。